

### 第3回国連防災世界会議パブリック・フォーラムにて「被災地で考えるジオパーク 大地の災いと恵み」を開催しました（2015/3/17）

テーマ：ジオパーク

場所：東北大学川内北キャンパス

2015年3月17日（火）、東北大学川内北キャンパスにて、第3回国連防災世界会議パブリック・フォーラム「被災地で考えるジオパーク 大地の災いと恵み」を実施しました（主催：東北大学災害科学国際研究所、南三陸海岸ジオパーク準備委員会、日本ジオパークネットワーク（JGN）、日本ジオパーク委員会（JGC））。

同フォーラムでは、2件の基調講演とパネルディスカッションが行われました。Patrick McKeever氏（UNESCO/IGCP Executive Secretary）より世界ジオパークの理念・意義や現状について、杉本伸一氏（日本ジオパークネットワーク）より日本におけるジオパークの現状やジオパーク関係者による取組みについて基調講演が行われた。パネルディスカッションでは、当研究所の久利美和講師（情報管理・社会連携部門 リーディング大学院、※南三陸海岸ジオパーク準備委員会）コーディネーターをつとめたほか、パネリストとして佐藤翔輔助教（情報管理・社会連携部門 災害アーカイブ研究分野）が登壇しました。佐藤翔輔助教からは、「東日本大震災の被災地における災害伝承の後方支援」というテーマで震災学習現場における専門家の関わり方について事例紹介が行われました。

当日は、定員80名のところ、96名もの方に参加をいただき、盛会となりました。



パネルディスカッションの様子  
（左：久利美和講師、左から2番目：佐藤翔輔助教）

文責：久利美和、佐藤翔輔（情報管理・社会連携部門）  
写真提供：中川和之氏